【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成19年8月2日(2007.8.2)

【公開番号】特開2006-478(P2006-478A)
【公開日】平成18年1月5日(2006.1.5)
【年通号数】公開・登録公報2006-001
【出願番号】特願2004-181386(P2004-181386)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｂ　5/055　(2006.01)
Ｇ０１Ｒ　33/48　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｂ　5/05　３１１
Ｇ０１Ｎ　24/08　５１０Ｙ

【手続補正書】
【提出日】平成19年6月14日(2007.6.14)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
被検体が配置される撮像空間に静磁場を発生させる静磁場発生部と、前記撮像空間に傾斜磁場を印加する傾斜磁場発生部と、前記撮像空間に高周波磁場を印加する高周波発生部と、前記傾斜磁場発生部と前記高周波発生部とを制御して所定のパルスシーケンスを実行させる制御部とを有し、
前記制御部は、前記所定のパルスシーケンスとして、血流アーチファクト抑制シーケンス、特定物質信号抑制シーケンスおよびイメージング用シーケンスをこの順序で実行させることを特徴とする磁気共鳴イメージング装置。
【請求項２】
請求項１に記載の磁気共鳴イメージング装置において、前記血流アーチファクト抑制シーケンスは、前記撮像空間の被検体を非空間選択的に反転励起する高周波磁場と、前記被検体の撮像断面を含む領域を空間選択的に反転励起する高周波磁場とを順に印加するシーケンスであり、
前記特定物質信号抑制シーケンスは、予め定めた特定の物質の磁化信号を選択的に抑制するための抑制用磁場パルスを印加するシーケンスであり、
前記イメージング用シーケンスは、前記撮像断面についてイメージングを行うシーケンスであることを特徴とする磁気共鳴イメージング装置。
【請求項３】
請求項１に記載の磁気共鳴イメージング装置において、前記血流アーチファクト抑制シーケンスは、前記撮像空間の被検体を非空間選択的に反転励起する高周波磁場と、前記被検体の複数の撮像断面を含む領域を空間選択的に反転励起する高周波磁場とを順に印加するシーケンスであり、
前記特定物質信号抑制シーケンスは、予め定めた特定の物質の磁化信号を選択的に抑制するための抑制用磁場パルスを非空間選択的に印加するシーケンスであり、
前記イメージング用シーケンスは、前記複数の撮像断面についてイメージングを行うシーケンスであることを特徴とする磁気共鳴イメージング装置。
【請求項４】

請求項２または３に記載の磁気共鳴イメージング装置において、前記抑制用磁場パルスは、前記特定の物質を選択的に励起するための高周波磁場と、励起された前記特定の物質の磁化方向を分散させるための傾斜磁場とを含むことを特徴とする磁気共鳴イメージング装置。